



創立170周年記念事業

耐久高校校舎全景 (ドローンによる航空写真)

撮影日：令和4年6月9日

撮影者：「Orange Blue」代表 山本琢哉氏(高55期・H15卒)

NO. 50

着任のびあひかつ



全日制教頭 林 和哉

4月の人事異動により、旧高等学校校定時制から耐久高等学校全日制教頭に着任しました。以来、生徒の活気や礼儀正しさ、教職員の行動力やバイタリティーに心打たれ、何よりも今年170周年を迎える本校の歴史と伝統の重みを、ひしひと感じているところです。

本校では、生徒一人一人の可能性を信じ、将来を見据えて自らの目標を達成するために粘り強く取り組み、高い品格と活力を兼ね備えたりーダーとして活躍できる「耐久生」を育成することを目標にし、日々教育活動を展開しています。生徒が学習活動に主体的に取り組むとともに、学校行事や部活動、ボランティア活動等にも積極的に参加し、置かれた環境で持てる力を十分に発揮できるよう努めています。

本校のカリキュラムは、生徒の多様なニーズに応えることが出来るように設定されていますが、必要に応じて放課後の補充学習や長期休業中の講習会等が行われるとともに、職員室前の学習スペースには毎日のように生徒が集まり、熱心に自習したり教員に質問する姿が見られます。また今年度の入学生から新教育課程がスタートし、新たに観点別評価が導入され、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点の評価が行われることになりました。新しい転機を迎え、同窓会の皆様方には今後も変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年度 全国大会出場クラブ激励金 贈呈

令和4年6月29日(水) 11時30分

全国大会出場クラブの代表者に、大西同窓会長と大西校長より、激励金とともに健闘を祈念するエールが贈られた。各代表者は大会に臨むそれぞれの決意を力強く述べた。

- バドミントン ※かつこ内は開催地
 - ・全国高校総体 男子団体(徳島県)
 - ・全国高校総体 女子団体
 - ・全国高校総体 男子・シングルス
 - ・ダブルス

- ・全国高校総体 女子・シングルス
- ・ダブルス
- 剣道
 - ・全国高校総体 女子団体(高知県)
 - ・全国高校総体 女子個人
- 囲碁将棋
 - ・全国高校囲碁選手権大会 団体 (東京都)
- マンドリン
 - ・全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール (大阪府)



「ふるさと和歌山応援寄附」を募集！
和歌山県立耐久高校に

一昨年の4月から、長年にわたる私たちの要望が実現し、県下の高等学校に「ふるさと納税」制度が適用されることになりました。折しも今年は創立170周年を迎えます。ふるって母校の教育環境充実のために応援をお願いします。

「ふるさと納税」は一定限度額までは「寄附した額から2000円を差し引いた額」が税金から戻ります。振込用紙は学校事務室に用意しています。

耐久高校に関係する皆様からの寄附による応援をお待ちしています。

詳しくは学校事務室までお問い合わせ下さい。

お問い合わせは耐久高校 (Tel.0737-62-4148 Fax.0737-62-2251) まで。



支 部 連 絡 先	和歌山耐久会	関西耐久会	関東耐久会	有田耐久会
	会長 西 博 義 〒640-8321 和歌山市岩橋 1690-47 Tel 073-475-2677	会長 地 引 民 子 幹事長 宮 崎 裕 子 〒563-0017 大阪府池田市伏尾台 3-8-1 Tel 072-753-1219	会長 林 紀 男 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002 株式会社 オフィス ココ 桜バンケット Tel 03-3359-9520	会長 和 泉 保 廣 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148

バドミントン部

「悔いの残らない全力プレーで」

主将 3年 平嶋 海翔

現在、バドミントン部は男子が20人、女子が9人という部員数で、その中には小学校、中学校からの経験者、高校から始めた者など、いろいろな人がいます。全国大会で活躍することを目標に、日頃から質の高い練習を行っています。時には練習メニューが厳しく、弱音を吐くことも多々ありますが、お互い助け合いながら頑張っています。そんな私達の強みは、チーム力です。私達は先輩後輩関係なく仲がよく、日頃からコミュニケーションを大切にしています。

耐久高校バドミントン部は、先輩方からインターハイなど数々の全国大会に出場している伝統ある部活です。そして自分達の代になり、県大会を勝ち進み、男女ともに四国（徳島）インターハイに出場することになりました。

インターハイでは男女ともにベスト8を目標に頑張ります。コロナ禍という厳しい中で練習ができなかったり、精神的にネガティブになったり、大変な時期もありましたが、それらを乗り越えてきた自分達の力を信じて、全国大会ではプレーしたいです。もちろん結果も大切ですが、それ以前に全力でプレーし、悔いの残らないことが一番大切だと思うので、全力を尽くします。

全員一生懸命頑張ってくるので、応援よろしくお願いします。



剣道部

「仲間たちとの強い思いを胸に」

副主将 3年 大上 夏子

まずは、このコロナ禍の中で今年も大会が開催されること、そして、剣道ができることへの感謝の気持ちを持ってインターハイという大きな舞台に挑みたいと思います。

私は団体でのインターハイ出場を目標にこの耐久高校に入学しました。しかし、入学早々自粛期間となり、部活動にも制限がかかり、一年の時は総体も中止となりました。そして、まだまだコロナと隣り合わせの生活の中行われた去年の総体、新人大会は3位、2位という悔しい結果に終わりました。今度こそは絶対優勝しよう、みんなでインターハイにいう、という仲間たちとの強い思いを胸に最後の夏に向けて共に高め合ってきました。そして、迎えた高校生活最後の総体では、私たちが一番大切にしているチームワークで最後まで諦めず、なにがなんでも勝つという執念で優勝を勝ち取ることができました。

これまで同じ目標を持ち、楽しい時も辛い時も支え合い共に過ごしてきた仲間たち、熱心にご指導してくださった先生方、いつも応援してくださる保護者の方々、OB、OGの方々、そして、どんな時も一番近くで見守り支えてくれた両親への感謝の気持ちを忘れず、インターハイでは団体ベスト8以上、個人では一つでも多く勝ち上げられることを目標に今、自分たちの持てる力を発揮し、全力で挑んでいきたいと思えます。

（この文章は上記の逆順で重複して記載されています）

囲碁将棋部

「全国高校囲碁選手権大会出場にあたって」

部長 3年 南 晴記

高校に入学して、何か成果を上げたいと思っていた私は囲碁・将棋部に入部しました。その時の私は将棋のルールしか知らない状態でした。まして囲碁はルールどころか見聞きしたこともない有様でした。

そんな中で私はこともあるうに囲碁に打ち込み始めました。最初は先輩方に教えてもらいながら、本を読んで囲碁のルールや打ち方を精一杯覚えめました。囲碁に触れて初めての大会に出場した時、対局した相手は私と同じく高校から始めた方たちであったものの、緊張からか惨敗を喫しました。ショックでしたがすぐに切り替えて練習を重ね、次の大会では優秀賞をいただきました。

学年があがり、より高いレベルの対局に出場するようになりました。その大会では平常心を保つため、今までの練習を思い出しつつ地で臨むように努めました。その結果は、なんと県大会団体優勝という入部する以前の私からは到底想像も出来なかった華々しいものでした。

私は囲碁を始めた時から多くの学びを得てきたように思います。その中でも特段励みとなっているのが「全く分からない物事でも割と何とかなる」ということです。そしてこれから大学生になっていくにあたって過度に物怖じしなくてもいいと思えるようになってきました。この気持ちで全国大会でも頑張りたいと思えます。

マンドリン部

「感謝の気持ちを忘れず」

部長 3年 新倉 光姫

私たちマンドリン部の目標は、今回出場する全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールで優秀賞をとることです。昨年、私は指揮者として出場し、努力賞という結果に終わり、とても悔しい思いをしました。だから、今年こそは優秀賞をとりたい。そんな思いを胸に日々練習に励んでいます。

昨年の大会の結果から、私たちは、少人数だからこそできる演奏について必要なことを話し合い、個人の演奏技術の向上と弱点の克服に努めてきました。特に基礎練習に力を入れ、部員一人一人が自信を持って音が出せるようになりました。苦労したこともありましたが、試行錯誤を何度も重ね、徐々に理想の演奏が出来るようになってきました。

また、私たちのクラブでは、学年関係なく声を掛け合い、コミュニケーションを取ることを心がけています。それが部員同士の信頼関係を築き、私たちの演奏を向上させると考えています。

今回も全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールに出場できるのは、私たちの部活動を支えてくださる顧問の先生方や指導してくださる先生、そして家族のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、皆さんの期待に応えられるよう精一杯演奏します。応援よろしくお願いします。



「私の思い」

あじさい庭園「恵紫園」オーナー

有田耐久会 佐々木 裕哲 (高15期)

人生何が起るやら。高校、大
学そして希望していた地元銀行
(旧興紀相互銀行、後改名、阪和
銀行)へ昭和42年就職。和歌山県
下、大阪府下と転勤数々、最後の
新宮支店の時(平成10年)、予期
せぬ戦後初、銀行破綻。関連会社
を含め800人の従業員が地獄の
闇墮ちへ。私は当時54歳、馬力の
ある支店長、思えば当時日本経済
はバブル期が頂点に達し、まさか
銀行が潰れるとは考えられない。
当行が破綻後、都銀、長期信銀、
信託銀、地銀、信金、信組と倒産
ラッシュ、180行が破綻し、生
き残った銀行も公的資金導入で合
併や統合も迫られ、大手銀行すら
23行が5行に集約されました。私
も会社倒産後、心の整理もし、有
田川町の議会議員(吉備町も含め
5期)を皆様のご支援で務めさせ
て頂き、また、議会議長もさせて
頂きました。

私が花(あじさい)に興味を持っ
たのは、友人宅の玄関に咲いてい
るめずらしい花を見たことがきっ
かけです。「これ何の花ですか」
と聞くと「あじさい」という。あ
じさいといえば昔から青い花の印
象でしたが、その花はとも綺麗
な花でした。その時、銀行破綻の
話になりその人は「私の知ってい
る阪和さんの行員さんも泣いてい
ましたよ」と、その言葉が自分の
ことのように気が分になりました
たが、目の前の美しい花を見て、
花ってこんなにも心を癒してくれ
るものかと実感しました。
そうだ!! 銀行破綻、職
場を失った等、嫌なことも
ありましたが、私達夫婦は
子育ても終わったことだし、
多少経費が要っても花の美
しさに感動してもらい、少
しでも皆さんに心を癒やし
てもらうことが出来ればと
決心しました。自宅裏のみ
かん畑を平成15年から、あ
じさい庭園のオープンガー
デン(年中開放無料)とし
て、今日に至っています。
今では、300種(日本古
来の山あじさいを含め)1
100株を咲かせています。



今年、例年より1000人多
い4000人の来園者がありまし
た。県外は近畿2府4県、遠くは
愛知、東京、茨城県からも来て頂
きました。
今年の来園者の方で特に印象に
残ったのは、花後の剪定作業を数
日前から行い、あと一日で終了予
定の6月30日午前9時過ぎのこと
でした。駐車場へ一台の車、娘さ
んと思われる人に手を引かれた高
齢の女性が来園。私はその姿を見
て、「悪いことしたなあ〜もう少
し剪定が遅かったら見て貰えたの
に」とどこから来られたのかと
聞くと、那智勝浦町からだと言っ
た。

友達がこのあじさいが、とても
良かったから行って来たらと。ま
た6月17日(金)夕方NHK和歌山
の放映を見て、母親がどうしても
見たいと言うから、昨日午後から
来たのだが道に迷い遅くなり泊ま
り、今来たと言う。私としても折
角来て頂いたのに綺麗な姿を見て
もらえなく、少し残っていた花を
持ち帰ってもらおうとすると、帰
りも時間かかるし、花が萎れて可
哀相だと言う。これが本当の花を
愛する気持ちだと心打たれました。
最後に私のあじさい作りは、妻
の理解と協力があればこそできた
ものと感謝しています。

ペットと泊まるログハウスの宿
パートナーズハウスゆあざ
横山 享
(高14期)
湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL: http://www.partnershouse.jp

総合ビルメンテナンス・特定人材派遣
(株)ウイ・キャンコーポレーション
取締役会長 岡 伸彦(高14期)
代表取締役 岡 勇作(高19期)
〒535-0002 大阪市旭区大宮4-15-9
TEL 06-6954-0346
FAX 06-6954-0577

小畑産業株式会社
代表取締役 小畑 英三(高18期)
〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
ei-kobata@kbts.jp

心の健康相談・更年期の健康相談
神人クリニック
院長 神人 勉(高18期)
〒732-0053 広島市東区若草町18-46
TEL 082-261-0600

「無意味」からの「リアリティ」
 — 伊藤彩さんの作品の魅力 —



伊藤彩さんのアトリエは閑散としていた。実は現在、中国北京での作品展に40点余りの作品を送っているとのこと。その後、南京、台湾でも開催予定で、販売もされるといふ。

小さい頃から絵を描いたり、ものをつくるのが好きで絵画、美術教室に通っていた。本校のグローバル探究科に入学。自分で考え探究する学習や国際経験豊かな講師の方々から海外へ向けての発信を学んだ、と語ってくれた。本校卒業後、京都市立芸術大学に進学、油絵を専攻し、大学院を修了。在学中から精力的に作品を発表し、数々の賞を受賞。注目を集めた。平成27年には和歌山県立美術館主催の「リアルなリアルなリアル」展では

空間そのものを取り込むような縦5メートル横21メートルに及ぶ大作を制作。豊かな色彩感覚と作品の大きさに圧倒された。

その後、滞在中のアイルランドでも画家のリチャードゴーマン氏に出会い、東京で二人展を開催している。

それらの功績で令和3年度「和歌山県文化奨励賞」を受賞。独自の画面構成や色彩感覚で描かれた作品が高く評価された。



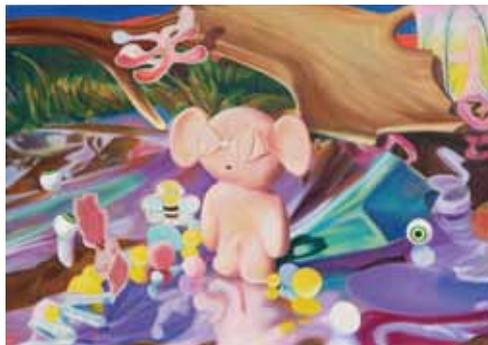
〈伊藤さんのコンセプト〉

大切にしていることは「無意味」。意味の輪郭を曖昧にすることで感覚的世界を広げたいという。

制作は「フォトドローイング」と呼ぶ独特な画面構成方法から成り立つ。まず、自身で制作したキャンパスのペインティングと紙のドローイング、陶器などの立体物、家具などでジオラマを作る。時には、その中に自身が入り込み写真を撮り、それらを組み合わせる。そして思いがけない構図やアングルの視覚的効果が生まれた画面を再構築し、絵画制作に入る。

この手法により、色彩の海と夢のような脱力感、物質感のそぎ落とし等の要素が合わさって、現実と想像の間の夢のような状態「リアリティ」が作品の中に息づく。そして、自身が追究する「意味はないが魅力的」なもので溢れた作品が完成する。

文責 法眼貞子(高19期)



〈プロフィール〉

- 1987年 有田市生まれ
- 2005年 本校グローバル探究科卒(高57期)
- 2009年 京都市立芸術大学美術科卒業
同大学院修了
- 在学中「天保山」サントリー賞
アートアワードトーキョー丸の内
準グランプリ
- 2011年 大学院市長賞等受賞
アートアワードトーキョー丸の内
審査員賞
- 国内外で創作活動(和歌山・滋賀・
アイルランド等)
- 個展・グループ展多数開催
- 2021年 和歌山県文化奨励賞受賞

県立高等学校の在り方(再編整備)について その4

県教育委員会は令和3年12月23日に、「県立高校の充実と再編整備に関する原則と指針(案)」を発表しました。(内容は前回会報49号に掲載)

その後、令和4年1月24日まで県民意見(パブリックコメント)を募集し、3月に「県立高校の充実と再編整備に関する原則と指針」を発表しました。(県教育委員会HPから閲覧可)

その内容は、概ね「原則と指針(案)」と同じです。第3章では、県内4つのエリア・地域における高等学校の在り方が、「『この高等学校は何年先にどうなるか』といった結論は示していません。それは、高等学校の取組や地域の意識・行動によって、当該高等学校を取り巻く状況がよりよく変化することを期待するからです」と、記載されています。

有田地方では、3校(箕島、有田中央、耐久)は当面、学校の調整を行いながら存続充実させ、これまで3校で実施してきた普通科、職業系専門学科、総合学科の教育を提供する高等学

校への再編整備を検討し、段階的に実施するとされています。

「耐久高校への期待や改善の方向性では、

- ・生徒は、学習や部活動に一定の向きな意識を持って意欲的に取り組んでおり、伝統やこれまでの実績が期待される。
- ・生徒数の減少が進む中、今後、地域に整備される拠点校の一翼を担うことも視野に入れて、学科やコース等の再編を含めた、教育システムの変革に着手する」

等と記載されています。今後、同窓会は県教育委員会の動向を見守りながら、母校の存続とさらなる発展を願って要望を続けていく所存です。会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

同窓会長 大西義弘(高16期)



濱口梧陵偉業顕彰シンポジウム 「防災だけに留まらない梧陵の功績」

「稲むらの火」で有名な濱口梧陵の偉業を伝えるシンポジウム「防災だけに留まらない梧陵の功績」が、令和4年3月19日、岩出市の旧県議会議事堂で開催された。和歌山県主催、和歌山県議会・広川町後援によるもので、当日はオンラインでも同時配信された。

幕末に起きた安政の大地震・大津波の際、稲むらに火をつけ、避難する人々を誘導したという話で知られる梧陵は、他にも私塾の開設やコレラの防疫など幅広い分野で貢献し、初代県議会議長も務めた。

当日のシンポジウムでは、その果たした役割を多角的に顕彰するため、日本近代史が専門の東京大学教授山口輝臣氏が「梧陵さんは、どこから来て、どこへ行ったのか」と題し、日本の歴史における濱口梧陵の位置づけ等について基調報告をされた。

その後、パネルディスカッションでは基調報告をした山口氏、「ヤマサ醤油」12代当主濱口道雄

氏、岡山理科大学教授の吉川泰弘氏、県企画部長の横山達伸氏が意見を述べられた。山口氏は「思想・教育等を含めた梧陵の功績全般」について、濱口氏は「ヤマサ醤油7代目当主濱口儀兵衛(梧陵)の功績」について、吉川氏は「銚子でのコレラ防疫、お玉が池種痘所の再建等」について、横山氏は「初代県議会議長等、政治家としての梧陵」についてそれぞれの立場から、私たちが梧陵に学ぶことやそれを引き継ぎどのようにしていくべきか等の発表内容であった。

梧陵翁の多彩な功績に今更ながら感銘を受けた今回のシンポジウムであった。同窓会長 大西義弘(高16期)

濱口梧陵偉業顕彰シンポジウム
「防災だけに留まらない梧陵の功績」
令和4年3月19日(土) 13:00~16:30
和歌山県議会議事堂
参加費 無料
手話通訳あり
主催：和歌山県 後援：和歌山県議会・広川町

橘家 橋爪正文(高39期)
Wedding Hall TACHIBANA
ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL <http://www.tatibanaya.jp>
〒649-0434 有田市宮原町新町17

田辺法律事務所
弁護士 田辺善彦(高14期)
〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2
TEL 073-431-2801
FAX 073-433-2299

「おいしさの仕上げは、やさしさのトッピング」
カフェ&ベーカリー オリーブ
有田川町熊井759-1
TEL.0737-52-8565
営業時間/9:00~18:00
(カフェ/9:00~18:00)
定休日/日・月・祝
HP <http://www.wasaren.org/olive/>

金山寺みそ 醸造元
か 垣内みそ
垣内欣久(高15期)
本店 湯浅町別所 342-1
TEL (0737) 63-5855
和歌山店 和歌山市里 45-1
TEL (073) 462-7003

◆地元、有田耐久会にご入会を！(お問い合わせは事務局 0737-62-4148)

耐久高等学校創立170周年記念事業

実行委員会経過報告

- 第1回準備委員会 (令和3年5月27日)
 - 実行委員長・副実行委員長決定
 - 第2回準備委員会
- 第2回準備委員会 (令和3年7月9日)
 - 実行委員メンバー決定・委嘱
 - 第1回実行委員会 (令和3年10月26日)
 - 実行委員自己紹介・記念事業・その他
 - 第2回実行委員会 (令和3年12月14日)
 - 記念講演講師・式典当日の日程・その他
 - 第3回実行委員会 (令和4年2月15日)
 - ：新型コロナにより延期
 - 第3回実行委員会 (部長会議) (令和4年5月6日)
 - 来賓及び招待者・予算・総合司会・その他
 - 第4回実行委員会 (令和4年6月8日)
 - 今後のスケジュール・その他
 - 第5回実行委員会 (令和4年7月11日)
 - 校舎全景航空写真・学校への寄贈品・記念品について
 - 部署別協議
 - 第6回実行委員会 (令和4年8月19日)
 - 司会者決定・パンフレット・式典各担当について
- 創立170周年記念式典
 - 日時 令和4年11月3日(木祝) 13時～16時(予定)
 - 場所 耐久高等学校体育館
 - 第1部 記念式典(13時～13時50分)
 - 1 開式宣言
 - 2 国歌斉唱
 - 3 県民歌斉唱
 - 4 校歌斉唱
 - 5 学校長式辞
 - 6 あいさつ 記念事業実行委員長
 - 7 来賓祝辞
 - 8 来賓紹介
 - 9 祝電披露
 - 10 記念寄贈目録贈呈
 - 11 生徒代表挨拶
 - 12 閉会宣言
 - 第2部 記念講演(14時5分～15時5分)
 - 1 講師紹介
 - 2 記念講演：：和歌山県福祉保健部技監 野尻孝子先生 (高25期生)
 - 3 演題「未定」
 - 4 謝辞
 - 5 花束贈呈
 - 第3部 記念公演(15時20分～16時)
 - 朗読と歌による生涯劇「梧陵さん」

有田耐久会

清水古民家宿の旅

台風一過、とは言え時々雨の残る中、地元のカイドさんの案内で緑の鮮やかな早苗と四季移り変わる「あらぎ島」の魅力を聞かせてもらいました。

そのあと、700メートル離れた、まさに「こんな所にポツンと一軒家」的な蔵王権現まで、細い急な山道を、老体にムチ打ち息絶え絶え登り切りました。

古民家宿「笠松亭」では、大きな雨戸をすべて開けっ放しにして、森林の風が通り抜ける広間で、清

水の郷土料理「ワサビ寿司」「コンニャクの味噌和え」「アユの干物」などいろいろ(生ビール片手に)ごちそうになりました。アトラクシヨン「素和歌」のミニライブでは、私たちの世代に合わせた曲を聞かせてくれました。

今回初めてお会いする会員さんもいて、楽しい一日を過ごさせていただきました。

会長 和泉保廣(高22期)



ご訃報

千川純一氏(昭和22年耐久高卒)が昨年12月15日にご逝去(享年92)。

日本物理学界のトップリーダーの一人。特に高エネルギー物理学分野では世界的な権威。日本学士院賞、紫綬褒章受章。関東耐久会のためにも色々ご尽力いただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

なお、ご息女の日浦文子氏から「最後まで研究を続けられ、自分の研究と向き合えたことは父の本

望であり、天寿を全うしたように思います。生前に賜りましたご厚情に厚くお礼申し上げます」とのご挨拶がありました。

関東耐久会会長 林 紀男

追記：千川純一氏の関連記事のご紹介
同窓会報「耐久」第6号(H12)には、谷口維紹博士(高18期)と共に「日本学士院賞」を受賞された千川氏の記事が、第7号(H13)には、千川氏が執筆された特集「サイエンスの高野山」がそれぞれ掲載されています。これは同窓会HPよりご覧頂くことができます。

SHIMODE DENTAL CLINIC
医療法人 わかしお会
下出 優 (高・理数2期・S48卒)
下出 輝 (高54期)
広川町広292-1
TEL (0737) 63-6482

同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!
有田川温泉
鮎茶屋
有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151

各種印刷・紙器・果実包装紙
辻本印刷所
〒649-0303 和歌山県有田市新堂208-1
TEL (0737) 82-4444・82-5400
FAX (0737) 83-6006

部活OB・OGたちの絆

卓球部の巻

耐久高校卓球部は、昭和24年に創立しました。現在の部員数は、2年生10名、1年生7名の計17名です。新入部員は、初心者も経験者も関係なく、協力しながら日々練習をしています。また、本年度は、3年生の女子ダブルスが夏の県総体でベスト16に入り、近畿大会に出場しました。卓球部が近畿大会に出場するのは、久しぶりのことです。大会の結果は1回戦敗退となりましたが、県外の強豪校と試合をしたこと、強豪校同士の試合を見たことは部員たちにとって大変貴重な経験となったようです。そして、その姿を見ていた後輩たちも刺激を受け、自分たちも近畿大会に出場したいという思いを持ってよりいっそう練習に励むようになりました。目標を達成するには



日々の地道な基礎練習が大切だと考えています。今回の近畿大会出場は、そのことを部員たちが実感してくれましたと思います。これからも子供たちが卓球を通してさまざまなことを学んでくれるよう指導して参りたいと思います。今後とも、ご指導ご声援賜りますようよろしくお願いいたします。

顧問 瀧川智恵

紡

俳壇・歌壇

- ・時は今歴史揺るがす桔梗かな
衣奈伸和(高18期)
- ・捕手の吾子防具外せば玉の汗
生馬三紗子(高18期)
- ・蜜柑照るなだり畑より父の声
大久保智子(高22期)
- ・小つばめの大口並ぶ青時雨
さへずるごとに日々太りゆく
楠本弘子(高女28期)
- ・瓶底に梅シロップの液ニセンチ
ただそれだけの今朝のよろこび
脇中佐智子(高10期)
- ・ウクライナをロシアの攻める理が読めぬ
かしぐ地球儀いく度もまわす
北野惣一(高24期)

ありがとう！ 梧陵さん

「あなたはいつも考える 自分に何ができるかを
あなたはいつも考える 自分に何ができたかを」
「濱口梧陵傳」を手に取り読み進め、貴方の生き方、思いの深さを改めて感じた三年前。
貴方の生き様を書き進めていくうちに『貴方の思いを、貴方への思いを』しっかりと伝えたくて言葉を綴り、詩が生まれ、曲をつけました。歌はお話しをするような思いで仕上げました。

貴方の大いなる願いに近づきたくて私たちは歌います。歌うたびに、貴方と共に生きていく様な嬉しい気持ちになるのです。

『編集後記』

本年度は、耐久高校創立170周年です。170年を三つに分けると1852(嘉永5)年 濱口梧陵翁が稽古場開設。耐久社、耐久学舎となるが私学(中学)として濱口家が財政・運営に尽力。教育の質向上のため全国から優秀な人材をあつめた。「自主・自学」の校風で全国に知られ、耐久スピリッツが育成された68年間。
1920(大正9)年 県立に移管(濱口家が学校を県に寄付)し、和歌山県立耐久中学校となる。県下各地にある9校の旧制中学のひとつになり戦前を駆けぬけた29年間。
1948(昭和23)年 有田高等女子校を合わせ新制の県立耐久高等学校(その伝統から耐久の名が残され)となる。以後73年間。となります。
記念式典は、11月3日に開催されます。第一部式典 第二部記念講演 第三部朗読と歌による「梧陵さん」となっています。コロナ禍で紙面縮小、記事もおもに編集委員会でもとめました。15期 佐々木裕哲さんの紫陽花、57期 伊藤彩さんの絵画で紙面がぱっと明るくなりました。入学以来、マスクを外せず制約の多いなか生徒たちは頑張っています。クラブ活動の成果、感想も見てやってください。

